

項目	内容
子どもの実態と教材を考えた(製作した)利用	・泥んこ遊びを楽しんでいる。また、色水遊びにも興味をもって楽しんでいる姿があった。更に水に親しみがもてるように、小さな袋を利用して水遊びを存分に楽しめるように保育者と色水でヨーヨー作りをしたいと考えた。
ねらい(子どもの何を育てたいか)	・水遊びの楽しさを味わう。 ・色の混ざり具合や様々に変化する色水に興味をもち、保育者と色水を小袋に汲み入れてヨーヨーを作って遊ぶことを楽しむ。
効果的と思われる導入方法(提示の仕方)	・水を絵の具で染めて変化する様子を見せる。 ・何色か用意し、好きな色を選べるようにする。
予想される乳幼児の姿	・小袋に上手く色水が入らない。また、入る方法を考える。 ・単色だけをといたり、他の色を混ぜたりする。 ・出来たものを見せ合う。 ・ヨーヨーのゴムをつけてもらう。順番を待てない子もいる。 ・ヨーヨーの遊び方を知らず戸惑っている。保育者の遊び方や色水の入れ方を真似する。 ・上手く出来上がったヨーヨーを持ち歩いたり、その感触を楽しんだりする。
教材を使用する時の配慮・援助・遊ぶ時のルール	・口に入れない。 ・友達に色水をかけない。 ・ヨーヨーを相手に向けて弾ませない。 ・室内に持ち込まない。 ・タライの方には、色を混ぜない。(混ぜてもいい小袋や洗面器で混ぜる)
環境の設定	・色の取り合いにならないよう、また落ち着いてじっくりできるように、同じ色を2ヶ所ずつ設定する。 ・小袋に色水を入れる道具を子どもが選べるように、様々な大小のコップ、皿を設定する。 ・色を混ぜる道具として、筆を人数分以上用意しておく。 ・高さや広さなど子どもが作業しやすい台、日よけパラソルを設定する。
遊んでみてどうだったか	・色の変化に驚いていた。 ・小袋がいっぱいになるのを喜んで、何度も入れたり出したりしていた。 ・出来上がったものでヨーヨー遊びを楽しんでいた。 ・大事に自分の靴箱にしまい、降園時に家に持ち帰り家で大事にし、宝物にしていた子もいた。 ・出来上がったヨーヨーを友達同士で見せ合いっこする姿があった。
改善点	・ヨーヨーにするために、ゴムを付けるところは2歳児には難しく、保育者の援助が必要である。個別に援助する場面になるということを考え、順番を待てるようにすることや友達のものを見ることなど考慮して設定を工夫する。
何を楽しんでいたら(水とのかかわりを通して)	・色水とただの水を小袋に入れ、違いを眺めて楽しんでいた。 ・ヨーヨーを両手で握り締めたりもんだりして感触を楽しんでいた。 ・ヨーヨーを空にかざして色の綺麗さに驚く子もいた。 ・ヨーヨーをプールやタライに入れたり出したりして、“液体”なのに混ざらないことや、取り出すことができる不思議さを感じ、何度も出したりいれたりしていた。 ・ヨーヨーが初めは冷たかったのにそのうち暖かくなり、水の温度の変化に気付いた子もいて、じっと持って感じていた。



はいらないよお～  
せんせい どうやるの？

まずは、自分でビニールの中へ色水を入れようと  
必死です。



カップを使ったら  
はいった はいった

ビニールの中に色水を入れる道具として  
カップなどを用意したがそれは使わずにいた。困  
っている様子だったので、保育者が「これを使って  
みては？」と声かけしたことで、道具を使って色水  
を入れ始めていた。



せんせい  
手伝って～

お友だちが、先生にゴムで結わいてもらっている  
のを見て、早く自分も結わいてもらいたくて慌て  
て入れようとするが、なかなか上手く入りません。



お水だけで 作ってみよう

自分の好きな色を選んで作っています。  
色を加えないで、水そのものの色でヨーヨーを作  
っている子もいました。



いっぱい はいった  
おも～い

自分でたくさん色水が入られた事に喜びを感じ  
ています。



みて～ みて～  
ほら きれいでしょ

お友だち同士で見せ合いっこしたり、ゴムをビョ  
ーンと伸ばして見せたり作った物で遊んでいます。

**みどころ** 注目して頂きたい点や事例の特徴を財団がまとめました。

小袋に色水が入っていることで、自分の手の中に水をつかみじっくりと見、感触を楽しむことができます。そこで、色の混ざる様子や変化、袋の中での水の動きなどに気付いて興味深く見たり積極的なかわりをしたりすることができました。ヨーヨーにすることで遊びとして自然に動きやかかわりが引き出され、発見や不思議を感じながら水に親しむことができました。友達の色水やヨーヨーの様子にも興味をもち、かかわりも引き出されています。